

Canforo

カンフォロ

No. **34**

愛媛県美術館ニュースNo.34 2007

Exhibition **企 画 展**

ロシア絵画の神髄 国立ロシア 美術館展

The Masterpieces of
the State Russian Museum
from late 18th century to
20th century

平成19年10月3日[水] - 11月11日[日]

休館日は、本紙で利用案内でご確認ください。

●会場 / 新館1階[企画展示室]、2階[常設展示室1]

ロシア絵画の黄金時代と呼ばれる19世紀後半は、ロシア社会が大きく転換し、文化が躍動した時代でした。17、18世紀にピョートル1世、エカチェリーナ2世によって推し進められた近代化政策によりイタリア、フランス、ドイツ等の西洋美術に深い影響を受け、それを基盤として、ロシア独自の芸術を开花させたのです。

当時、皇帝による専制政治に反発し、各地で反乱が起こります。芸術の世界においても1863年の「14人の反乱」は歴史に残る画期的な出来事でした。皇室美術アカデミーの権力に反発した優秀な学生14人が、アカデミー美術学校の卒業試験を拒否し、退学したのです。その先導者がイヴァン・クラムスコイ(1837-1887)でした。クラムスコイを始めとするグループが1870年に結成したのが、移動美術展協会です。自由な意思で、ありのままにロシア社会の現状や理想を表現すること、そして作品をロシア国内の地方都市にも巡回して展覧し、広く人々の目に触れさせることを目指し、実現させたのでした。これらの作品の中に描かれているのは、ロシアの大自然、そして一所懸命に生きる人々でした。

巨匠イリヤ・レーピン(1844-1930)はこれらの画家たちの中で突出した存在でした。その広い好奇心と探究心をもって、ヴォルガ川の舟曳き労働者や、十字架の行列をなす民衆の姿を大作に仕上げました。《ヴェーラ・レーピナの肖像》はレーピンの長女の肖像画です。レーピンは文豪トルストイや音楽家ムソルグスキー、リムスキー=コルサコフ等の著名な文化人の肖像画を手がける一方で身近な家族の姿を多く描いています。これらの作品を通じて、人を愛し、その姿や生き方を熱心に観察した画家の眼を感じることが出来るでしょう。まさに真実こそが美であったのです。

この展覧会で、画家たちの真摯な思いが込められたロシア絵画の魅力を十分に堪能していただければ幸いです。

学芸員 杉山 はるか



イリヤ・レーピン《ヴェーラ・レーピナの肖像》(1886年) ©The State Russian Museum 2007-2008

1 国立ロシア美術館展 記念講演会

10月3日(水) 14:00-16:00

- 講師: エヴゲニア・ベトロヴァ(国立ロシア美術館副館長)
- 場所: 愛媛県美術館 講堂

2 ハラショ! ロシアトーク

作品を1点取り上げ、対話を通して理解を深めます。

毎週土、日曜日 11:00-11:30

- 担当: 当館学芸員およびガイドボランティア
- 場所: 愛媛県美術館展示室

3 ロシア美術講座「ロシア芸術の黄金時代」

10月13日(土) 14:00-16:30

- 講師: 当館学芸員
- 場所: 愛媛県美術館 2階研究室

4 ロシアのおはなし

ロシアの民話などのおはなしを語ります。

- 語り手: 松山おはなしの会
- 日時: 10月14日(日)・21日(日) 各13:00~
- 場所: 愛媛県美術館 2階研修室

5 ロシア de ゴールデンアート

国立ロシア美術館展出品作を題材に制作から額装まで体験します。

- A: デコパージュ&コラージュ 10月7日(日)
- B: モザイク 10月21日(日)
- C: 額装 10月28日(日)

材料費 A:100円程度、B:200円程度、C:500円程度 各14:00-16:00

- 講師: 当館学芸員

6 学芸員によるフロアレクチャー

毎週水、木曜日 15:00-

※1346 は、お申し込みが必要です。詳細は、当館学芸員までお問合せください。

「柳瀬正夢とロシア」

平成19年10月3日[水]～11月11日[日]
休館日は、本紙ご利用案内でご確認ください。

●会場 / 新館2階 [常設展示室2]

大正時代から昭和初期にかけて、旺盛な制作活動を展開した柳瀬正夢。本展では柳瀬とロシアとのかかわりに焦点をあてます。

大正9(1920)年、柳瀬は「日本に於ける最初のロシア画展覧会」を見ており、このころから未来派やキュビズムに傾倒した作品を本格的に手がけるようになります。次第に社会主義への思想的共鳴を深め、プロレタリア運動のポスターや風刺画の制作へと移行します。戦時色が強まる中、治安維持法違反容疑での逮捕という過酷な時期を経て、昭和17(1942)年の満州旅行ではロシア人入植地ロマノフカ村を訪ね、多くのスケッチと俳句を残しました。

本展はロシア前衛美術と出会った時期の絵画作品、プロレタリア運動に係わる原画類、そしてロマノフカ村でのスケッチを中心に構成されます。柳瀬作品の新たな魅力を知るとともに、彼の作品を通して、ロシアの美術や社会の一端にふれていただければと思います。

学芸員 箱田 千穂



柳瀬正夢〈女性像〉



柳瀬正夢〈家〉

愛媛県民総合文化祭20周年記念事業

COLOURS OF EHIME

井出創太郎

MAYA MAXX

ミヤタケイコ

公開制作報告 & 展覧会お知らせ

愛媛県民総合文化祭20周年記念事業の一環として行われるアート・プロジェクト「COLOURS OF EHIME」では、愛媛の文化や暮らしを糸口に、作家、人、素材を結びたいと、3名の作家に愛媛の素材を活用した新作の制作を依頼。8月には、制作の一部を公開しました。

井出創太郎さんは、別子銅山の「蘭塔婆」をテーマにシダやアジサイの銅版6枚を組み合わせ、石膏による立体作品を制作しました。重厚な中に静謐な感じのする作品となっています。MAYA MAXXさんは、郷里今治タオルを使い、素材感を体感してもらいたいとバスローブに染料で「愛媛」をイメージしてダイナミックに制作、展示の際には実際に着用して試みる事ができるかも?! ミヤタケイコさんは、今治タオルと伊予絁を使い、南予の「牛鬼」を高さ3.5mの巨大なフシギドーブツに変身させました。平面の布から大きな立体物が出来上がる様は驚きでした。

これらの作品と合わせ、会期中に開催するワークショップの作品も展示します。お楽しみに!

学芸員 田代 亜矢子



井出創太郎



ミヤタケイコ



MAYA MAXX

展覧会

会期/平成19年10月27日(土)～12月24日(月)

休館日は、本紙ご利用案内でご確認ください。

会場/新館2階[常設展示室3]

ワークショップ

瀬戸内からにゅーよーく

要申込

今治のバスタオルに染料で絵を描きます。

○日 時:10/28(日)
A 10:00～12:00
B 13:00～15:00
※どちらかを選択

○どなたでも参加できます。各15名
○材料費:700円程度
○講師:MAYA MAXX

銅の山 時の便り

要申込

植物を版に用いた立体銅版画を制作し、別子銅山の森を作ります。

○日 時:11/3(土)14:00～16:00・
11/4(日)11:00～15:00
(2日間)

○小学生以上～大人・20名
○材料費:1,000円程度
○講師:井出創太郎

フシギドーブツをつくろう!

要申込

今治タオルを使って、自分のオリジナル牛鬼を作ります。

○日 時:11/11(日)
13:30～16:30

○小学4年生～大人・20名
○材料費:1,000円程度
○講師:ミヤタケイコ

バスローブで散歩

申込不要

バスローブ作品を着て、展示室から抜け出そう。

○日 時:11/18(日)・12/16(日)・
12/23(日)

14:00～15:00
○どなたでも参加できます。
○要観覧券

美術体験講座「ことばdeあ・そ・ぼ」

美術館では幼児から小学2年生くらいまでの子どもたちとその保護者のみに絞った鑑賞プログラムを6月3日(日)と10日(日)の2日間、常設展示室のコレクションを使って行いました。このプログラムはMoMA(ニューヨーク近代美術館)で行われているファミリー・プログラムを参考に、愛媛県美術館バージョンにアレンジしたのですが、今回、美術館に来館する保育園や幼稚園の子どもたちにも、作品を楽しみながらみてほしい!という想いから初めて試みました。プログラムでは、まず展示室に入る前に、全員で車座になって「大きい」「小さい」「あたたかい」等の言葉が書かれたカードを子どもたちに一枚ずつ手渡し、それぞれの言葉を身体表現等で紹介してもらいました。そして次に展示室に出かけていき、先ほどの言葉カードにあてはまることがあればそれを使って作品についてお話しする、ということを行いました。はじめは、どきどきの様子だった子どもたちも、途中からは慣れて最後のセザンヌの作品「水の反映」ではカード以外の言葉がどんどん飛び出し、一緒に参加された保護者のみなさんも驚かれるほどでした。また、プログラムが終わってからも展示室で他の作品も見て親子で色々話し合っている姿が見られました。このプログラムは今後も改良を重ねて続けていきたいと考えています。

学芸員 鈴木 有紀



名工ふれあい展

色の時間 竹で金色模様の虫づくり

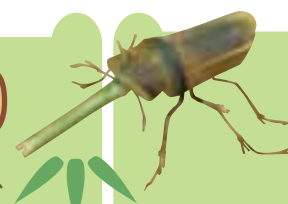
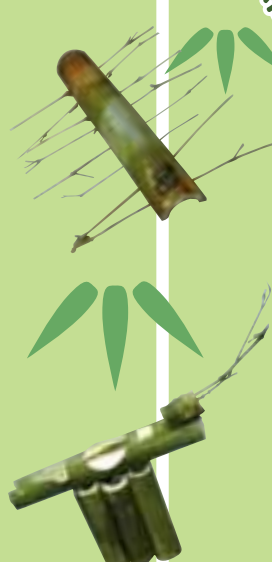
「愛媛のふれあい名工展III」で紹介した竹細工職人の倉橋澄夫氏を講師に迎え、8月29日(水)、30日(木)の2日間で、竹の虫づくりに挑戦しました。

初日の竹の伐採は、館外へ出掛けての作業を予定していたのですが、あいにくの雨で美術館敷地内の細い竹を数本切る程度となってしまいました。その細い竹と講師に用意していただいた竹とを使って、まずは、足や触覚などに使う竹の枝葉と、胴体部分に使う幹の部分に竹の材を分け、パーツを作りました。使いなれない鋸や小刀を使っての作業に悪戦苦闘でしたが、細部にこだわりながら、自分の納得のいく形に近づけようと、真剣に取り組んでいました。虫のパーツができれば、それらをボンドで接着し、仕上げに金箔で装飾しました。

カブトムシとショウリョウバッタを基本の形として、制作を進めたものの、同じカブトムシでもそれぞれ個性が表れ、また、それ以外の虫を自分で考えて作るなど、それぞれの思いが込められたオリジナルの虫が出来上がりました。

今回、虫を作るということに加えて、竹を切ったり、竹を火であぶって曲げたりする作業を通して、竹の特性を知ることもできたのではないのでしょうか。

学芸員 石崎 三佳子



INFORMATION

開館記念日特別事業「ハンズマート・ミュージアム」

開館記念日特別事業として、11月25日(日)をメインに、誰でも参加できるアートイベントが目白押し。芸術の秋は、美術館に出掛けよう!

イベント 18日

ダンボールタウンを作ろう!

ダンボールでマイホームを作り、1つのダンボールの街を作ります。
11/18(日) 10:00~16:00
※参加者を募集します。詳しくはお問い合わせください。

23日 → 25日

大切な人フォトリレー

リレー方式で次々カメラをまわし、たいせつな人を撮影した写真を展示します。
11/23(金・祝)~25(日) 9:40~18:30

イベント 24日

★職業見聞録

創造・表現系の職業で活躍中の先輩を招き、仕事に対する思いや現状を語っていただきます。
11/24(土) 10:30~17:10(予定)

25日

★ハンズマート

創作活動を行っている人のオリジナル作品を展示販売します。出店費は無料です。
※出店者を募集します。詳しくはお問い合わせください。
11/25(日) 10:00~16:00

25日

美術館ツアー

美術館の魅力を謎解きツアーでめぐります。
11/25(日) 9:40~17:30(予定)

23日

子ども映画塾 ~美術館編~

美術館を舞台・題材にした物語を創作します。

ワークショップ 23日
11/23(金・祝) 10:00~17:00

上映会 25日
11/25(日)
※ワークショップ参加者を募集します。詳しくはお問い合わせください。

25日

ライブ演奏

弦楽器、打楽器などによる演奏とひと時をお楽しみください。
11/25(日) 14:00~17:00(予定)

25日

ひっかき版画

釘などでひっかいて描いた版にインクをのせ、摺り写します。
11/25(日) 14:00~16:00
お問い合わせ先:美術館

25日

常設展観覧料無料

お問い合わせ先:美術館

★マークのイベントは、平成19年度提案型協働事業促進モデル事業「アートマネージメント事業」の委託事業です。

お問い合わせ先
特定非営利活動法人 アジア・フィルム・ネットワーク
tel.089-934-0310



吉村作治の早大エジプト発掘40年展

平成19年12月1日(土)～平成20年1月27日(日)

休館日は、本紙ご利用案内でご確認ください。

●会場／新館1階[企画展示室]、2階[常設展示室2]

本展覧会は、吉村作治教授率いる早稲田大学古代エジプト調査隊の活動40年を記念して、これまで同隊が発掘した資料約250点を公開するものです。

エジプトにおける学術的発掘調査は、19世紀初頭以来、ヨーロッパ諸国によって進められましたが、その見返りとして発掘品の分配を求めた結果、多くの資料がエジプトから運び出されました。しかし、早稲田隊はこうした旧来の方法と決別し、発掘品を国外に持ち出すことなく、その全てをエジプト国内に留め、保存・研究を行うという方法を確立させました。今回、エジプト政府の特別な協力を得て、早稲田隊による発掘品が日本で初めて一堂に公開されます。

中でも必見は、2005年1月5日にダハシュール北遺跡で発見された青いミイラマスク(通称・セヌウのミイラマスク)と彩色箱型木棺です。中王国時代、今から3800年前に活躍した行政官セヌウのミイラは、未盗掘の完全な形で発掘された事例としては最古級のもので、数々の貴重な資料を通して、エジプト5000年の悠久の歴史がここに甦ります。

学芸員 長井 健



セヌウのミイラマスク

関連事業

◎吉村作治教授講演会・トークショー・サイン会(参加無料)

12/1(土)

- サイン会 ----- 11:00～11:30 場所:新館エントランスホール
- 講演会・サイン会 ---- 13:00～15:00 場所:松山市民会館大ホール(先着1800名)

12/22(土)

- トークショー ----- 13:00～14:00 / 15:00～16:00 場所:新館講堂(先着120名)
- サイン会 ----- 14:00～14:30 / 16:00～16:30 場所:新館エントランスホール

12/23(日・祝)

- トークショー ----- 11:00～12:00 / 13:30～14:30 場所:新館講堂(先着120名)
- サイン会 ----- 12:00～12:30 / 14:30～15:00 場所:新館エントランスホール

※申込不要ですが、講演会・トークショーは、開演1時間前より会場前にて整理券を配布します。サイン会は、展覧会図録を購入された方を対象に行います。

◎学芸員によるフロアレクチャー

12/19(水)、1/9(水) 11:00～12:00

●申込不要。ただし企画展観覧券または友の会会員証が必要です。

◎美術体験講座「なんちゃってミイラ」

12/2(日)、9(日) 14:00～15:30

●場所:南館アトリエ2 ●申込不要。参加無料

◎「エジプトを描こう!」

あなたの描いた絵を美術館に飾ります。詳しくは、当館学芸課までお問い合わせください。

報告―「平成19年度愛媛県美術館協議会」について―

愛媛県美術館において、8月22日(水)に「平成19年度愛媛県美術館協議会」が開催されました。

当日は協議会委員14名のうち、11名の委員が出席し、一色哲昭会長の議事進行により審議が進められました。会議では、

- (1) 平成18年度事業等の経過報告について
- (2) 平成19年度予算及び事業について
- (3) 中期運営計画の進捗状況について
- (4) その他

を議題として、委員各位による熱心な審議が行なわれ、委員の方々からは、

- 展覧会のPRについては、美術館同士のネットワークや学校教育との連携が今後一層重要である。
- 学芸員による解説の機会をもっと増やしてほしい。
- 漫画やアニメに関連した企画展は、美術に関心の薄い層にも幅広く喜ばれるのではないかと。

などの意見や要望が出されました。愛媛県美術館では、今回の審議内容にもとづき事業を進めていきます。

美術館日記

美術館の場所いろいろ: 収蔵庫

作品が集められ、保管されている場所です。作品は、長期間展示し続けると保存上望ましくありません。ですから作品を最適な状態で休ませることが必要なのです。収蔵庫内は暗く、24時間一定の温度と湿度で保たれています。そして頑丈な扉で外界と区切れ、害虫が入らないようにしています。虫は作品を食べてしまう大敵なのです。このため、収蔵庫内は定期的に清掃、燻蒸し、新しく寄贈、寄託された作品も一度燻蒸して虫を駆除してから入れるのです。

ちなみに企画展展示作品やその空き箱等、短期間しか預からないものに関しては、別に専用の保管庫があり、収蔵庫と同様の環境で保管しています。

学芸員 杉山 はるか



ご利用案内 ■ 開館時間:9:40～18:30(入室は18:00まで) ■ 毎週月曜日(祝日及び振替休日)に当たる場合は、その翌日ただし、毎月第1月曜日は開館、翌火曜日は休館。8/14は開館 年末年始 12/29～1/3

アトリエ 利用時間 9:40～18:30

創作活動のできるスペース、アトリエはどなたでも自由にご利用いただけます。お申し込みは、お電話か、直接来館して予約してください。

- 利用内容:版画・木工・染織・写真・粘土など
- お問い合わせ先:ふれあいアートセンター tel.089-932-0147

講堂・研修室・県民ギャラリー

講演会、研修、作品発表の会場として講堂(定員120名)、研修室(定員56名)、県民ギャラリー(12室)がご利用いただけます。料金等、詳細については、当美術館総務課まで、お問い合わせください。

ハトの声(編集後記)



地球温暖化で、この夏も猛暑でしたね。やっとその暑さから解放され、過ごしやすくなったにも関わらず、なかなか夏の疲労感がとれません。今回、そういう状況下でのカンフォロ校正を、疲れがとれると言われ勧められた果実酢を飲みながら、乗り切りました。(M.I)

■4月より開館時間が延長し、18:30まで開館しています。
※南館ギャラリーの開館は、18:00までです。

■休館日のお知らせ ● = 休館日

10	11	12	2008年 1
日 月 火 水 木 金 土 ・ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . . .	日 月 火 水 木 金 土 ・ . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 .	日 月 火 水 木 金 土 ・ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	日 月 火 水 木 金 土 ・ . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . .



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
<http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/>